

徳島大学 全学共通教育「国際協力論2 -四国から世界へ 輝く瞳のつくり方-

No.	月日	講義名〔仮題〕	主な内容（予定）	担当講師〔所属先・役職名〕	
1	5/16 (土) 8:40～ 10:10	イントロダクションと基礎講座	授業の概要、進め方などを説明した後、国際協力に関する基本的な考え方、用語などを概説する。	饗場和彦（徳島大学）	徳島
2	5/16 (土) 10:25～ 11:55	アフガニスタンにおける教育支援	紛争による荒廃、女子教育の問題など課題が山積するアフガニスタンの教育について、現地に何度も出向き教員研修などの活動を続ける小野氏から話を聞く。	小野由美子（鳴門教育大学）	徳島
3	5/16 (土) 12:50～ 14:20		アフガニスタンの教育支援の活動をテーマに、質疑応答、討議、ワークショップなどを通して広く、深く発展的な理解を深める。		
4	5/16 (土) 14:35～ 16:05	国連やユニセフの活動	国連によるさまざまな国際協力の活動を概観した上で、とくに世界の子どもがかかえる諸問題を把握し、ユニセフによる支援活動を学ぶ。	勝間靖（前ユニセフ職員、早稲田大学）	東京
5	5/16 (土) 16:20～ 17:50		国連やユニセフ、子どもの問題について、質疑応答、討論、ワークショップなどを通して広く、深く発展的な思考を促す。		
6	6/6 (土) 10:25～ 11:55	中国・内モンゴルにおける教育、経済支援	中国・内モンゴルの貧困地域で学校建設、奨学金などを支援し、地域の経済力強化にも取り組む活動を聞く。	上田勝久（内蒙古愛陽教育経済支援協会）	徳島
7	6/6 (土) 12:50～ 14:20	JICAの活動とODA	政府レベルの国際協力の概要やODA（政府開発援助）、青年海外協力隊などJICAとして行うさまざまな国際協力の取組みを学ぶ。	新納宏（JICA四国）	香川
8	6/6 (土) 14:35～ 16:05	イラクに対する復興、教育、医療支援	アメリカのイラク攻撃の前から反戦運動に取り組み、戦争後も教育や医療など復興支援にあたるNGOの活動を知る。	相澤恭行（ピース オン）	東京
9	6/6 (土) 16:20～ 17:50		イラク戦争をめぐる問題や現地の実情、支援活動などをテーマに質疑応答、討議、ワークショップなどを通して広く深く発展的な考察を促す。		
10	7/4 (土) 10:25～ 11:55	アフリカ・ザンビアにおける保健・医療支援	世界の貧困問題の実情を知り、ザンビアで支援活動に取り組むNGOの活動を知る。	富士庸二（TICO）	徳島
11	7/4 (土) 12:50～ 14:20		世界の貧富の格差やアフリカの惨状について、質疑応答や討議、ワークショップなどを通して広く深く発展的に理解を促す。		
12	7/4 (土) 14:35～ 16:05	カンボジアとラオスにおける教育、保健、職業訓練支援	カンボジアとラオスで貧困地域の住民を対象に教育、保健、職業訓練の支援を行うNGOの活動を知る。	後藤尚子（セカンドハンド）、蓮井孝夫（香川国際ボランティアセンター）	香川
13	7/4 (土) 16:20～ 17:50		カンボジアやラオスの諸問題をテーマに、質疑応答、討議、ワークショップなどを通して広く深く発展的に考察する。		
14	8/29 (土) 14:35～ 16:05	国際協力の活動に実際に関わってみて	7、8月中に学外で何らかの国際協力の活動や学びの機会に参加し、その実体験を通して考えたことを報告、議論する。	饗場和彦（徳島大学）他	徳島
15	8/29 (土) 16:20～ 17:50				

平成21年度 香川大学 「国際協力論」
 ～ 香川から世界へ 持続可能な社会づくりのために ～

No.	月日	講座名	主な内容	担当講師〔所属先・役職名〕
1	4月13日	ガイダンス、アンケート等、国際協力論基礎講座(1)	この授業の趣旨やスケジュールなどの概要を伝える。また、アンケート調査で受講生の意識や希望を聞き、今後の授業展開に生かす。また、ODA(政府開発援助)やNGO(非政府組織)など、国際協力の用語を学ぶ。	平篤志(香川大学教育学部准教授)、JICA四国、四国NGOネットワーク
2	4月20日	ラオスでの支援活動	ラオスの民主化の必要性と教育支援の現状を学び、地域と国際社会における市民社会の構築のあり方を考える。	蓮井孝夫(NPO法人香川国際ボランティアセンター副理事長兼事務局長)
3	4月27日	難民問題と日本の対応	難民事業本部の活動について知り、参加型の学習で難民問題について考える。	中尾秀一(難民事業本部 関西支部 支部長補佐)
4	5月11日	JICAから見た国際協力とは? 国際協力の果たす役割	政府レベルの国際協力の概要やODA、MDGs(ミレニアム開発目標)、青年海外協力隊など、マクロな視点で捉え国際協力の様々な取組みを学ぶ。	新納宏(JICA四国支部長)
5	5月18日	国際協力論基礎講座(2)	国際協力、特に、国際教育協力の歴史と仕組みを学び、課題について考える。	正楽藍(香川大学教育・学生支援機構 留学生センター)
6	5月25日	企業のCSR	国際協力、環境問題などに取り組むボディーショップのCSR(企業の社会的責任)活動を知り、企業のCSR活動について考える。	藤田紀久子(株式会社イオンフォレスト(THE BODY SHOP) コミュニケーション部 部長)
7	6月1日	イラクでの支援活動	イラクの現状、そしてピースオンの活動について学ぶ。	相澤恭行(特定非営利活動法人PEACE ON 代表)
8	6月8日	国際協力を様々な視点から捉える(社会経済、在日外国人問題等)	国際社会論入門ー日本社会の国際化の現状と課題について考える。	平篤志(香川大学教育学部准教授)
9	6月15日	国際協力団体で働いて	国際協力団体で働くスタッフから、NGOで働くことになった経緯、やりがい、仕事に必要なスキルなどを聞く。	後藤尚子(一般社団法人セカンドハンド事務局)、林知美(NPO法人えひめグローバルネットワーク事務局)
10	6月18日	ザンビアでの医療支援活動	ザンビアの医療事情について学び、貧困を生み出す国際社会の仕組みについて考える。専門家として国際協力活動へ関わる重要性和地域市民との関わりについて学ぶ。	吉田修(特定非営利活動法人TICO代表)
11	6月22日	賀川豊彦の功績	徳島で育ち、戦前の貧困者救済のために身を捧げ、世界的な評価を得ている賀川豊彦の功績を学び考える。	伴武澄(共同通信社 賀川豊彦献身100年広報委員長)
12	6月29日	カンボジアでの支援活動	カンボジアでの教育・自立・医療支援などについて、また、その活動を通して考える国際協力について学ぶ。	平野キャシー(一般社団法人セカンドハンド 代表理事)
13	7月6日	国際協力におけるメディア	ミャンマーの長井記者銃撃について知り、メディアの役割りについて考える。	山路徹(APF通信社 代表)
14	7月13日	オイスカの活動と海外研修生とのワークショップ	農村開発や植林活動について学ぶ。また、各国からの研修生とのワークショップを通し、途上国への理解を深める。	柿沼瑞穂(財団法人オイスカ 四国研修センター 所長代行)

No.	月日	講義名〔仮題〕	主な内容（予定）	担当講師〔所属先・役職名〕	
1	4月15日	ガイダンス、ボランティア・NGO・国際協力について	国際協力論の概要。持続可能な社会づくりのために、政府や市民レベルの国際協力がどのように行われ、どのように地域と結びついているかについて学ぶことを目的としていることを説明。JICA国際協力推進員の役割、四国のNGO活動について概要を説明。	栗田英幸（愛媛大学法文学部助教授）、上田利奈（JICA国際協力推進員）、竹内よし子（四国NGOネットワーク代表）	愛媛
2	4月22日	JICA地球ひろば、大学生の国際協力、四国の国際協力	JICA地球ひろばの紹介とQ&A、広島大学学生による大学生実践国際協力活動紹介、四国のNGO活動ダイジェスト版を紹介。	草野（JICA地球ひろば所長）、君原晴香（広島大学学生）、竹内よし子（四国NGOネットワーク）	愛媛
3	4月30日	ネパール・東ティモール・カンボジア・フィリピン・モザンビーク支援	ネパールの里親制度による就学児童支援と教育支援活動の現状、東ティモール支援の現状と課題、地雷除去に取り組むカンボジアの平和支援、フィリピン・ミンダナオの現状と課題、松山市の放置自転車とモザンビークの武器を交換する平和支援といった事例を紹介し、四国の国際協力活動について学ぶ。	池田郁江（CCWA愛媛の会）、横田創（GNET代表）、井伊（JMAS）、栗田英幸（愛媛大学法文学部助教授）、竹内よし子（えひめグローバルネットワーク）	愛媛
4	5月13日	国際協力とコミュニティレストラン	コミュニティレストランをテーマに「食」から捉えた国際協力について考え、市民参加、多文化共生社会について考察する。	世古一穂（NPO研修・情報センター 代表理事）	東京
5	5月20日	グループディスカッション①	4月15日～5月13日までの講義内容を踏まえ、グループ分け、グループディスカッション、NGOとのディスカッションを行い、大学生が実践的に関わっていける国際協力のあり方について議論を深め、企画をつくり、中間発表により共有する。	池田郁江（CCWA愛媛の会）、横田創（GNET代表）、井伊（JMAS）、竹内よし子（えひめグローバルネットワーク）	愛媛
6	5月27日	グループディスカッション②			
7	6月3日	NGOとのディスカッション①			
8	6月10日	NGOとのディスカッション①			
9	6月17日	学生企画：フィリピン支援と在住外国人問題	フィリピン・ミンダナオ出身で在日フィリピン人支援に取り組む講師の話聞き、在住外国人問題について学ぶ。	アガリン・サラ・長瀬（KAFIN）	埼玉
10	6月24日	学生企画：国際協力パネルディスカッション	フェアトレードや企業の社会的責任の考え方を学び、地域における企業とNGOの協働について考える。	ソフトバンク、林知美（元社団法人セカンドハンド事務局）、藤山健（松山大街道商店街振興組合事業部部长）	香川 / 愛媛
11	7月1日	学生企画：JICAからみた国際協力とは？JICAの果たす役割	政府レベルの国際協力の概要やODA（政府開発援助）、MDGs（ミレニアム開発目標）、青年海外協力隊など、マクロな視点で捉え国際協力の様々な取り組みを学ぶ。	新納宏（JICA四国支部長）	香川
12	7月8日	学生企画：モザンビーク支援	モザンビークの平和構築事業と行政・松山市・他団体との協働について学び、国際協力活動に対し大学生としての関わり方を考える。現地オフィスとインターネット・スカイプでつなぐリアルタイムコミュニケーションを実演。	竹内よし子（えひめグローバルネットワーク代表）	愛媛
13	7月15日	学生企画：東ティモール支援	大学生による国際協力活動の現状と東ティモールの持続可能な開発について。	横田創（GNET代表）	愛媛
14	7月22日	学生企画：カンボジア支援	元自衛隊員が住民と共に取り組んでいるカンボジアの不発弾処理、地雷除去の活動について学び、NGOによる平和構築活動の意義について考える。	高山良二（JMAS地雷処理専門家）	愛媛
15	7月29日	まとめ	講義、グループディスカッション、実践的學生企画、プレゼンなどを振り返り、気づきや学びを全体で共有する。	栗田英幸（愛媛大学法文学部助教授）、上田利奈（JICA国際協力推進員）、竹内よし子（四国NGOネットワーク代表）	愛媛

高知大学・JICA四国・四国NGOネットワーク共催
高知大学 課題探求実践セミナー
～ 四国から世界へ 持続可能な社会づくりに向けて ～

No	月日	講義名	主な内容	担当講師（所属先・役職名）
1	7月18日	私と国際協力活動 ～高知大学OG軌跡～	現在、高知県仁淀川町に在住し、国際協力から地域活性化まで、幅白い活動を行う。高知大学農学部を卒業し、グアテマラでの青年海外協力隊活動、仁淀川町での「茶農家」としての出発など、さまざまな体験を基に、国際協力と地域社会のつながりを考える。	栗田桂子（茶農家、グアテマラ生産者支援ネットワーク「みるば」・事務局長）
2		国際協力ワークショップⅠ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション	蓮井孝夫（NPO法人香川国際ボランティアセンター理事長）
3		企業活動から見た国際協力	民間企業が国際協力や環境保全とどのようになかかわりを持てるのか、その役割はどのようなものがあるのかについて考える。	田岡真由美（株式会社相愛 四国環境取引事業部プロジェクトマネージャー）
4		国際協力ワークショップⅡ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション	蓮井孝夫（NPO法人香川国際ボランティアセンター理事長）
5	7月19日	高知県内の大学生による国際協力活動	高知県内の大学生によって行われている国際協力・交流の活動について考え、高知県の取り組みについて学ぶ。また、学生がどのように国際協力ボランティアに関わることができるかを実践者とともに考える。	アジア・僻地医療を支援する会（高知大学）、いけとべ（高知女子大学）、SKIP（高知大学）、松尾泰輔
6		国際協力ワークショップⅢ	JICA研修員との協働ワークショップとプレゼンテーション	松尾泰輔（JICA四国・高知県国際協力推進員）
		ラオスから考える国際協力と平和	ラオスにおけるベトナム戦争におけるクラスター爆弾の被害状況、教育支援活動が求められる現状等から、国際協力のあり方、地域と国際社会における市民社会の構築を考える。	蓮井孝夫（NPO法人香川国際ボランティアセンター理事長）
8		国際協力ワークショップⅣ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション	
9	9月21日	国際協力活動実践報告会	夏休み中のスタディツアー、研修・講座・講義参加、インターンシップ、ボランティア体験、イベント支援、自ら企画した活動など、学生による「国際協力活動」報告（1人・5分）とワークショップ→これはこのまま最終レポートの基礎材料になります。	蓮井、竹内、松尾、石筒覚（高知大学）、竹崎仁（高知県教育委員会）、竹崎実（高知県教育委員会）
10				竹内よし子（えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク・代表）
11				国際協力ワークショップⅤ
12	9月22日	国家として行う国際協力の意味、JICAの取り組み	政府開発援助（ODA）の概要、JICA事業の特徴、青年海外協力隊事業ほか、新たな協力のあり方などマクロな視点での国際協力の現状を学び、またJICA事業例として協力隊活動についても事例を知るとともに、改めて、自分たちに何ができるかを考える。	新納宏（JICA四国・支部長）
13		国際協力ワークショップⅥ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション	松尾泰輔（JICA四国・高知県国際協力推進員）
14		アフリカ支援と地域とのつながり	アフリカ大陸にあるモザンビークで行われている草の根レベルの国際協力活動の実態やESD（持続可能な開発のための教育）の意義を学び、四国・私たちの暮らしとのつながりを考える。	竹内よし子（えひめグローバルネットワーク、四国NGOネットワーク・代表）
15		国際協力ワークショップⅦ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション	